

雹災被害から大切なお車を守るために

2022年6月の関東地方を中心とした雹災では、広い範囲で多くのお車が被害を受けました。

雹災は、お車全体に損害が発生するため損害額が大きくなることに加え、多くのお車が同時に被害を受けることで、修理工場が混雑し、レンタカーも不足するため、修理までに時間がかかる傾向があります。

天気予報で雹の予報が出たら、

- ◆「屋根のある車庫等にお車を移動させる」
- ◆「お車に防雹カバーや毛布をかける※」等の対策を取り、大切なお車を雹災から守りましょう！



※できるだけ厚手の毛布を選び、お車全体に隙間なく被せます。



2022年6月雹災の被害規模※

※2022年11月8日時点の当社車両保険データより集計

○どれくらいの被害件数があるの？

車両保険の受付件数は約14,000件にのぼります。
車両保険のセットがないご契約もあるため、実際にはさらに多く被害が出ています。

○どれくらいの損害が発生するの？

車両保険金のお支払い額は、平均で約75万円となっています。
また、全損の割合は約21%と5台に1台が全損となっており、大きな被害が発生しています。

○車両保険金が支払われるまでにどれくらい時間がかかるの？

車両保険金のお支払いまでの日数は、平均で約78日となっています。
また、発生から5ヶ月以上経過しているにも関わらず、3,000件以上（受付件数の約24%）は、未だ修理工場に入庫できていません。
雹災では多くのお車が一齐に被害を受けるため、修理工場が混雑し、レンタカーも不足するため未修理のまま乗り続けざるを得ないケースも発生しています。

実際の被害事例

実際の被害事例をいくつかご紹介します。
いずれのケースも、ボンネット・ルーフを中心とした複数の外板パネルに凹み損傷が発生し、フロント・リアガラスも割れる等の大きな損害が発生しています。



<事例①>

国産小型乗用車 損害額：約55万円

ボンネット全体に凹み

フロントガラスに割れ

ルーフ全体に凹み



<事例②>

国産小型乗用車 損害額：約120万円

ボンネット全体に凹み

リアガラスに割れ

ルーフ全体に凹み



<事例③>

国産普通乗用車 損害額：約140万円

ボンネット全体に凹み

リアガラスに割れ

ルーフ全体に凹み

